

2009 年 1 月 23 日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2009年4月30日】

団体名 町田福祉レクリエーション研究会

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

町田市民リンクアップ大会

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

団塊の世代が定年を向かえ、今まで会社人間であった年代層が大量に地域社会に戻っている。これらの人たちの活動が次の地域社会を活性化することが期待されている。従って市民の健康造りと生き生きとした地域社会造りを目指したツールとしての生涯スポーツの重要性は富に高まってきている。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

本年度、町田市の各地で「リンクアップ」の普及のための活動を展開してきた。つまり福祉施設や子ども会でも講習会を開催してきた。今回のプロジェクトは謂わば今年度におけるこれらの活動の総決算として「町田市民リンクアップ大会」を開催した。今回はその狙い通りの市民の参加もあったが、意外なことに日本体育大学や福祉の専門学校の学生が将来福祉施設で共に楽しめるスポーツを習得したいとのことで予想外の参加者に膨れた。大会そのものは子ども、成人、高齢者でチームを作り、リーグ戦で行い、世代を超えて競技的面と社交的な面を組み合わせ合わせた楽しめる大会となった。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

町田市で生涯スポーツとして楽しめるサークルが増え、市民の健康と福祉文化の向上に役立つこと。そのことを可能にする誰だもどこでも手軽に楽しめるニュースポーツの1つ普及をはかることを目的としている。またこのことでスポーツを通じての人と人とのつながりを促進することで地域社会を活性化することが可能である。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

全体として町田市民が応募してくるものとしていたが実際は日本体育大の学生を始め福祉分野の学生の参加者と一般市民の参加が半々であった。参加動機を聞いて見ると将来福祉分野へ就職した時、障害者も高齢者も、健常者も共に楽しめるスポーツとして「リンクアップ」を取り上げたいとのことであった。このことは町田市民の参加による町作り、ネットワークと考えた当初の目的とはずれてはいるが将来的なことを考えると若い世代が目的を持って新たなスポーツを身につけ社会活動をしてくれるならより以上の目的を果たしたものと解釈できる。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介され

参考資料あり ・ 特になし

た記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

特にありません

生涯スポーツの王様 'LINE KUBB'

町田市民クッブ大会

この事業は 真如苑の市民活動公募助成 を受けております。

「クッブ」とは薪という意味、 バイキングが始めたスウェーデンの伝統スポーツ



カストピンナと呼ばれる丸棒を下手で目標のクッブ（薪）に命中させます。



クッブの指導者講習会



芹が谷公園でクッブを楽しむ子ども達

場所	成瀬体育館	JR成瀬駅下車 徒歩3分
開催日時	1月10日(土)	受付 9時 10時開始～15時 終了予定

【主催団体】 町田福祉レクリエーション研究会
【協賛団体】 町田市レクリエーション協会
【参加費】 100円（保険代他）
【申込方法】 1月5日締め切り（3人で1チーム、入賞者には豪華景品あり。）
Eメール machidarec@yahoo.co.jp でお申込みください。
電話 090-3903-0736 または fax 0428-23-0230 でも受け付けます。